



Truth ~真実~

第28号

2020年 8月 7日発行

発行責任者 岡本 洸太
編集者 教 宣 部

ヒロシマ、原爆投下から75年

8月6日、広島に原爆が投下されてから75年を迎え、平和記念公園では平和記念式典が開催されました。「75年は草木も生えぬ」と言われていましたが、広島は多くの花々や木々に囲まれ、自然豊かな町となりました。

一方で被爆された方の高齢化が進み、原爆の恐ろしさや戦争の真実をいかに次代へ継承していくかが大きな課題となっています。

2020年(令和2年)8月7日(金) 毎 日 新 聞

被爆の記憶 消滅危機

7団体 解散・休止検討

高齢化担い手不足

日本被爆者協会連合会（日本被爆協）の都道府県組織が毎年度の調査で明らかになっているように、被爆者や遺族の中心となった組織も、その活動の担い手が減り、活動が維持できなくなっている。その結果、解散・活動休止を検討している団体も出てきている。

日本被爆者に加えて、オプティミズムを失った高齢者が多くなっている。被爆者や遺族の中心となった組織も、その活動の担い手が減り、活動が維持できなくなっている。その結果、解散・活動休止を検討している団体も出てきている。

全国の被爆協組織
※数字は被爆者数(2020年3月末日時点)

北海道	248
青森	42
岩手	23
秋田	16
山形	108
福島	74
茨城	115
群馬	103
栃木	155
埼玉	55
千葉	95
東京	1597
神奈川	313
新潟	296
富山	277
石川	2852
福井	44
山梨	42
長野	103
岐阜	155
愛知	95
静岡県	4691
中部	2005
北陸道	468
近畿道	3541
山口	2205
徳島	746
香川	207
高松	849
愛媛	44
福岡	42
佐賀	103
熊本	155
鹿児島	55
沖縄	95
東京	1597
神奈川	313
新潟	296
富山	277
石川	2852
福井	44
山梨	42
長野	103
岐阜	155
愛知	95
静岡県	4691
中部	2005
北陸道	468
近畿道	3541
山口	2205
徳島	746
香川	207
高松	849
愛媛	44
福岡	42
佐賀	103
熊本	155
鹿児島	55
沖縄	95
東京	1597
神奈川	313
新潟	296
富山	277
石川	2852
福井	44
山梨	42
長野	103
岐阜	155
愛知	95
静岡県	4691
中部	2005
北陸道	468
近畿道	3541
山口	2205
徳島	746
香川	207
高松	849
愛媛	44
福岡	42
佐賀	103
熊本	155
鹿児島	55
沖縄	95



式典中に黙とうする被爆者や被爆者の遺族—広島市中區で6日午前9時15分、山田町弘福院。

必要なのは私たちの意思

子ども代表 平和への誓い (全文)



「75年は草木も生えぬ」と言われた広島に、75年がたった今、広島は、人々の活気に満ちあふれ、緑豊かな町になりました。

この町で、家族で笑い合い、友達と学校に行き、公園で遊ぶ。

気持ちよく明日を迎え、さまざまなお祭りや、当り前の日常が広島の町には広がっています。

しかし、今年の春は違いました。当たり前だと思っていた日常は、ウィルスの脅威によって奪われたのです。

平和記念式典で「平和の誓い」を朗読する子ども代表 猪飼健吾君。

「必要なのは、私たち人間の意思です。私たちの未来に、核兵器は必要ありません。私たちは、互いに認め合う優しい心を持ち続け、私たちの心にずっと生き続けます。」

人間の手によって作られた核兵器をなくすのに必要なのは、私たち人間の意思です。

私たちに、相手の思いに寄り添い、笑顔で暮らせる平和な未来を築きます。

被爆地広島で育つ私たちが、当時の人々が諦めずつないでくださった希望を未来へつないでいきます。



これまでJ R 東労組青年部では、ヒロシマ現地学習行動を通じて、現地に立ち学ぶことの大切さから、原爆の恐ろしさ、戦争の真実を学ぶことができました。今年度は開催となりませんでした。戦争で犠牲になるのは弱い立場にある私たち労働者や市民であって、平和を訴えていくことには変わりはありません。子ども代表による「平和への誓い」では、「人間の手によって作られた核兵器をなくすのに必要なのは、私たち人間の意思です。」と力強く語られています。核兵器も戦争もない平和な社会をめざすために、私たち青年部から声を上げていきましょう！！